

2015年3月30日
象印マホービン株式会社

タイにおけるステンレスマホービンの生産工場拡張に関するお知らせ

象印マホービン株式会社（本社：大阪市北区 社長：市川典男）は、持分法適用関連会社「ユニオン象印株式会社（英字表記：UNION ZOJIRUSHI CO.,LTD）」のバンパコン工場を拡張し生産能力の強化を図ります。

ステンレスマホービンの市場は、環境志向や節約志向、ライフスタイルの多様化などを背景に年々需要が拡大しています。特に、ここ数年は日本国内のみならず、海外でも大きな伸びを示しており、今後も更に需要増加が見込まれます。3年後の2018年度の当社出荷予測数は国内外合計で1,400万本（2014年度比145%）を見込んでおり、こうした世界的な需要の増加に対応するために、生産能力の増強を行います。

現在、タイのバンコク（バンチャン工場）並びにタイ中部のチャチューンサオ県（バンパコン工場）の2つの工場でステンレスマホービンの生産を行っており、2つの工場を合わせた年間の生産数は現在1,100万本です。今回、バンパコン工場を拡張することにより、生産能力を年間1,500万本に高める予定です。工場の拡張が完了し本格稼働ができる時期は2015年12月の予定です。

今後も需要の変動を見ながら将来的には年間2,000万本も視野に入れ、より高品質な商品を生産できる体制を構築して参ります。

【ユニオン象印の概要】

会社名	ユニオン象印株式会社〔持分法適用関連会社〕 (英字表記：UNION ZOJIRUSHI CO.,LTD)
代表者	Vacharaphong Darakananda
設立	1986年
所在地	バンチャン工場（タイ・バンコク） バンパコン工場（タイ・チャチューンサオ県）
現在の生産能力	年間 約1,100万本
新たな生産能力	年間 約1,500万本

この件に関するお問い合わせ
象印マホービン株式会社
広報部 安藤・美馬本
TEL 06-6356-2329